



麻生区地区カルテ

～ みんなでつくる これからの麻生 ～

2025（令和7）年4月

「地区カルテ」とは…

各地域における地域資源情報、統計情報などを基に地域の特徴や課題などをまとめたものです。
地域課題を広く共有し、課題解決に向けた取り組みを進めるためのツールとしてご活用ください。
本資料では地域情報を麻生区全体と町別単位で構成しています。



地区カルテの構成

①地域情報シート（麻生区全体）

- ・麻生区の概況、地域の特徴、各種統計資料

②地域情報シート（地域ケア圏域別）

- ・共通フェイスシート
- ・地域資源情報

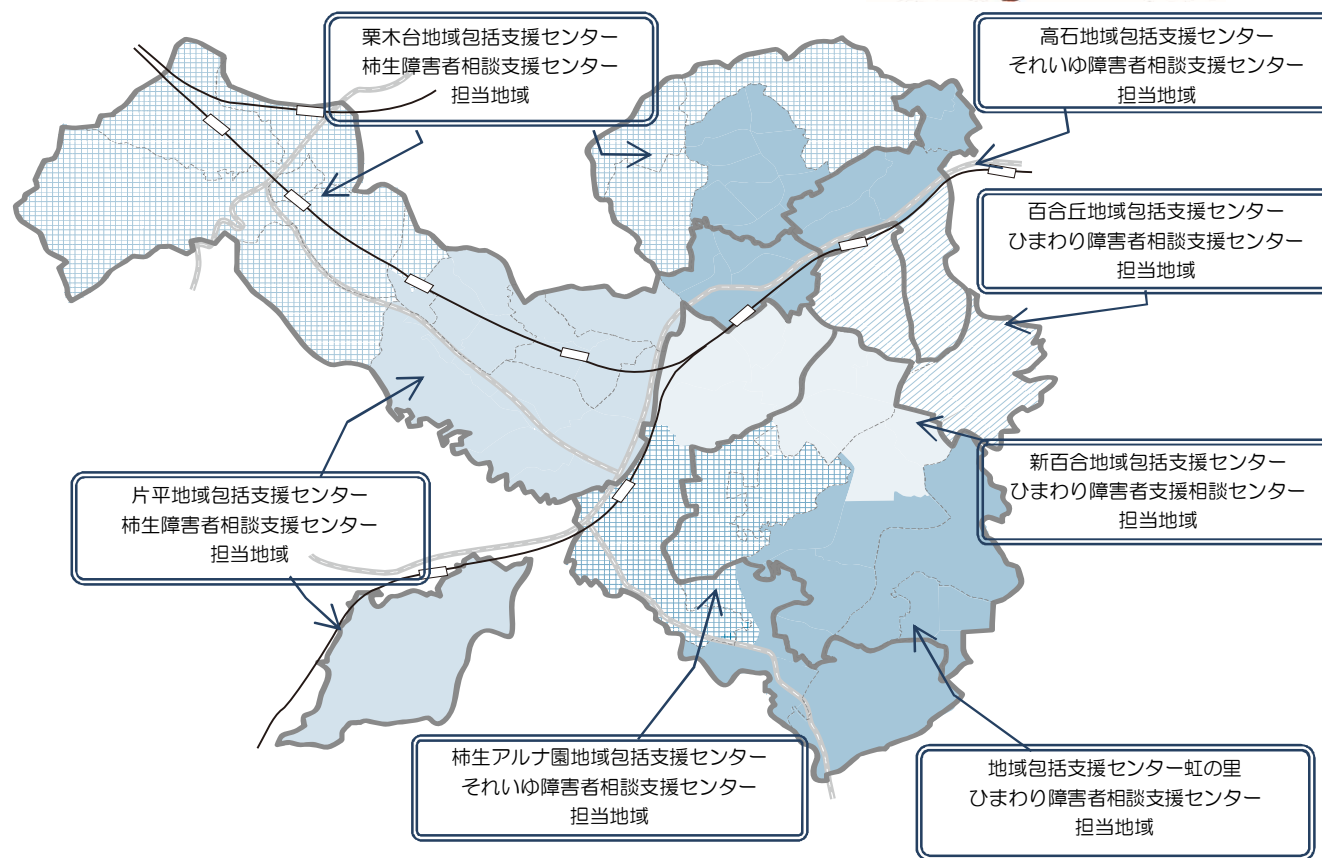
③地域情報シート（町別）

- ・統計データ等

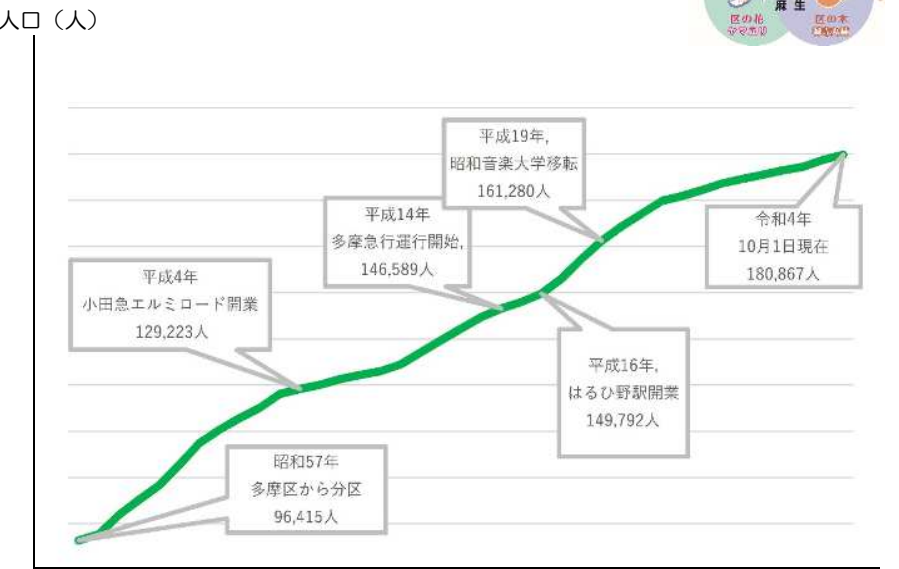
④各種資料

- ・各種支援・助成制度等一覧
- ・麻生区ガイドマップ
- ・町会・自治会ガイドブック
- ・ちびっこおでかけマップ
- ・いつまでも、いきいき暮らすために
- ・地域包括支援センター一覧
- ・各種出典、基準日

⑤地域自己診断ツール「ちいきのちからシート」



麻生区の概況



■基礎情報		基準月	出典※全て川崎市
総人口	180,354	2024年10月1日	川崎市「年齢別人口」 (毎年10月1日現在の年齢別人口(区別各歳別人口、年齢構成比、年齢構成指数、平均年齢)など)
うち男性	86,892		
うち女性	93,462		
年少人口(0～14歳)	20,923		
年少人口割合	11.6%		
生産人口(15～64歳)	113,983		
生産人口割合	63.2%		
老年人口(65歳～)	45,448		
老年人口割合	25.2%	2024年10月1日	川崎市の世帯数・人口
世帯数	82,703	2024年10月1日	管区別年齢別外国人住民人口
外国人数	3,835	2022年2月	川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計
高齢化率(2030年推定)	28.6%	2024年9月	川崎市の生活保護の動向(速報値)
うち、75歳以上割合	17.7%	2024年3月	川崎市における児童虐待相談・通告件数
生活保護世帯数	1,511		
虐待通告数	537		

■ 地域の特徴

麻生区は、昭和57（1982）年7月1日、川崎市の行政区再編によって、多摩区から分区し誕生しました。麻生の名の起りは、8世紀頃から朝廷への貢ぎ物だった麻布の原料である麻を広く産した地であったことによると伝えられています。鎌倉時代に王禅寺の等海上人が発見したといわれる「禅寺丸柿」は、独特の甘みを持ち、江戸時代から戦前にかけて人気を集めました。「柿生」（かきお）の地名の由来にもなっており、平成24（2012）年には区のシンボルの木に選ばれています。

昭和2（1927）年に小田急線の柿生駅ができた後、昭和40（1965）年以降に開発が進められ、昭和49（1974）年に区を中心となる新百合ヶ丘駅が誕生しました。現在、新百合ヶ丘駅周辺には、麻生区総合庁舎、文化センター、消防署があるほか、駅南側には大型ショッピングセンター、映画館などからなる商業地域が形成されています。また、「昭和音楽大学」、「川崎市アートセンター」、「日本映画大学」など芸術関連施設も多く、文化・芸術の薫りあふれるまちとなっています。

一方、区内にはエレクトロニクスや先端技術の研究開発施設が集まる「マイコンシティ」などの産業資源、「川崎フロンターレ」の練習場など地域に密着したスポーツ資源、「王禅寺ふるさと公園」、大型農産物直売所「セleshamos」、「明治大学黒川農場」など豊かな自然・農業資源が多く存在します。これらの地域資源を活かしながら、地域と連携して住みやすいまちづくりをめざしています。

■要介護等認定者数		基準月	出典※全て川崎市
要介護等認定者総数	8,455	2024年3月	川崎市統計書 介護保険の概況
うち要支援1	1,006		
うち要支援2	925		
うち要介護1	2,239		
うち要介護2	1,465		
うち要介護3	1,027		
うち要介護4	1,046		
うち要介護5	747		
■障害者情報		基準月	出典
身体障害者手帳所持者	4,132	2024年3月	川崎市統計書 障害者の概況
療育手帳保持者	1,412		
精神障害者保健福祉手帳保持者	2,068		

麻生区の地域の特徴

小田急多摩線沿線

○多摩ニュータウン、かわさきマイコンシティに隣接し、宅地開発とともに、若い世代の人口が増加



15歳未満の人口割合が高い地域
(令和6年9月末の年少人口割合が15%以上)



65歳以上の人口割合が高い地域
(令和6年9月末の老年人口割合が25%以上)

※小数点第2位四捨五入

しんゆり・芸術のまち

芸術・文化のまち麻生

○日本映画大学・昭和音楽大学・川崎市アートセンターなど芸術文化に関する地域資源が集結

新百合ヶ丘駅周辺地区

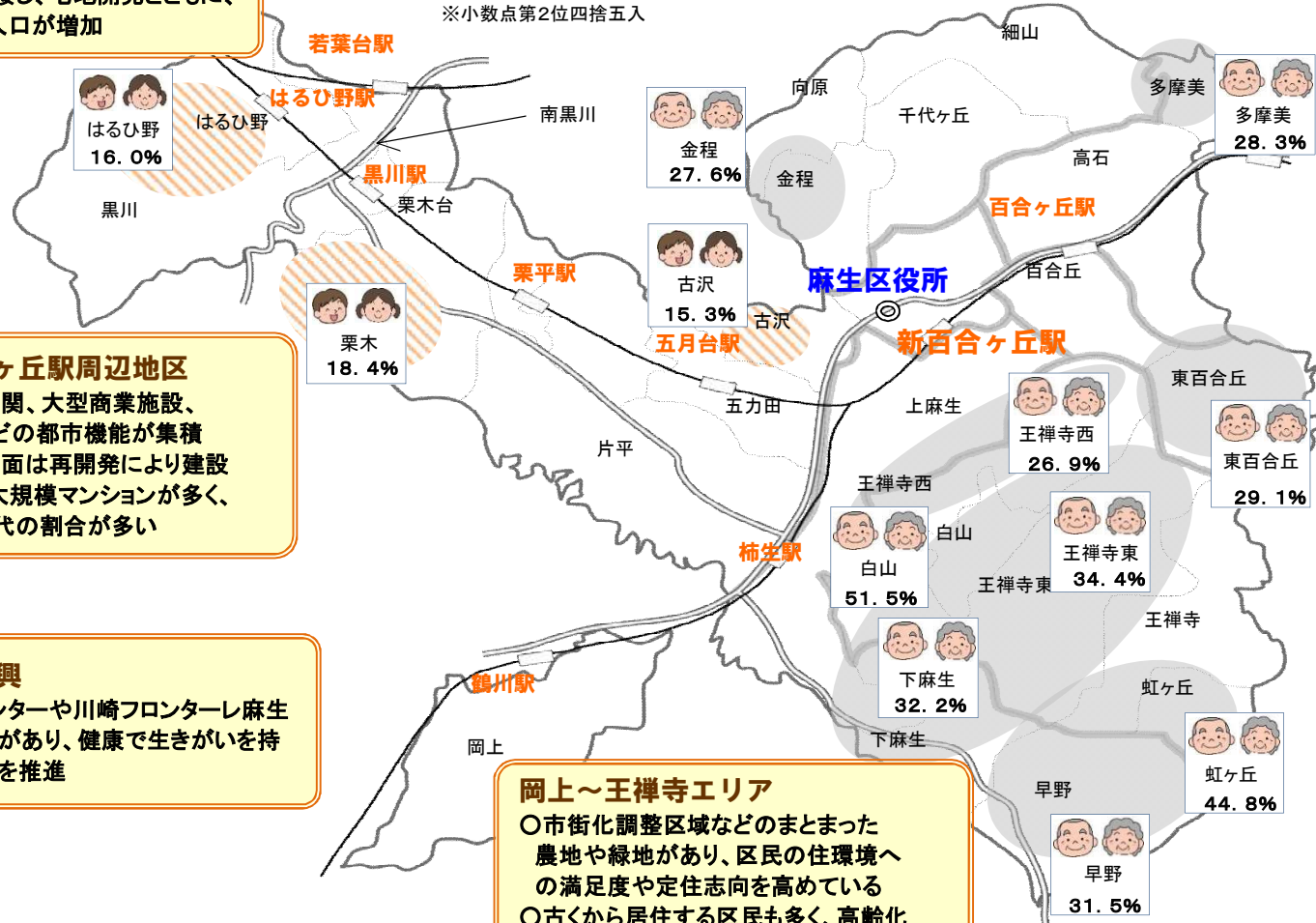
○行政機関、大型商業施設、病院などの都市機能が集積
○北口方面は再開発により建設された大規模マンションが多く、若い世代の割合が多い

スポーツ振興

○スポーツセンターや川崎フロンターレ麻生グラウンドなどがあり、健康で生きがいを持てる地域づくりを推進

岡上～王禅寺エリア

○市街化調整区域などのまとまった農地や緑地があり、区民の住環境への満足度や定住志向を高めている
○古くから居住する区民も多く、高齢化が目立っている

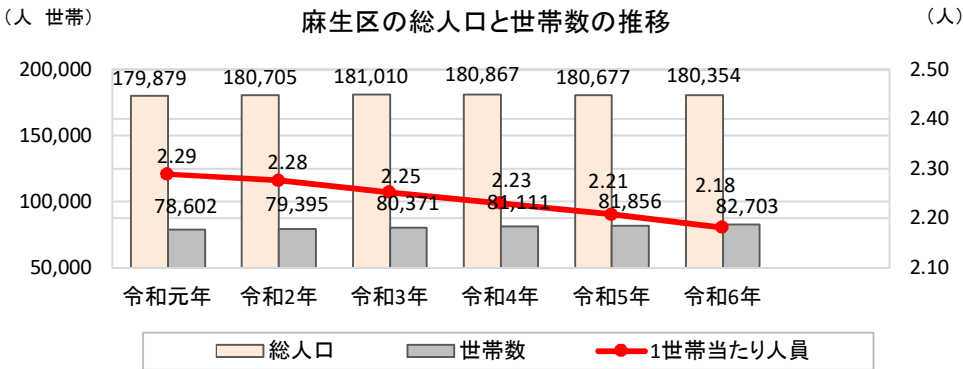


麻生区の現況

①麻生区の総人口と世帯数の推移

麻生区の人口は、令和6年（2024）年10月1日現在で180,354人となっており、前年に続き減少となりました。
また、1世帯当たり人数も令和6年（2024）年10月1日現在で2.18人となり、緩やかな減少が続いています。

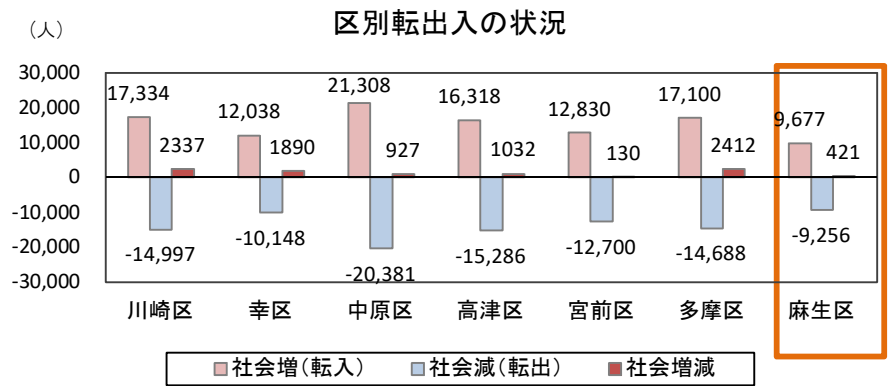
資料：川崎市の統計情報「川崎市の世帯数・人口」（各年10月1日現在）



②人口動態

令和6（2024）年1月から令和6（2024）年12月の転出入の状況を見ると、社会増が（転入）が9,677人、社会減が9,256人あり、転入が421人上回っています。

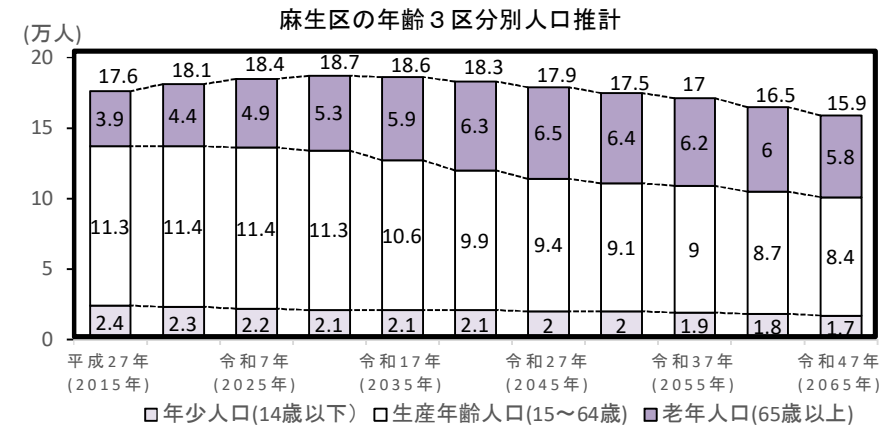
資料：川崎市の人口動態「区別月別人口動態」（令和6年1月～令和6年12月の合計）
※社会増減…住民の社会増（転入）から社会減（転出）を差し引いた人数



③年齢3区分別将来人口推計

麻生区の年齢3区分別将来人口推計をみると、総人口は令和12（2030）年まで緩やかに増加するものの、令和2（2020）年以降は生産年齢人口の減少が続き、老年人口は令和27（2045）年の64,900人をピークとして増加が続くと予想されています。

資料：川崎市総務企画局「川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計について」



④児童虐待相談・通告の状況

令和5年（2022）年度の児童虐待相談・通告件数（麻生区）は、537件となっており、昨年度より微増し、依然として高い数値を推移しています。
市全体での相談・通告件数は5,238件、対前年度比1.6%の増加となっています。

児童相談所児童虐待相談・通告件数受付状況

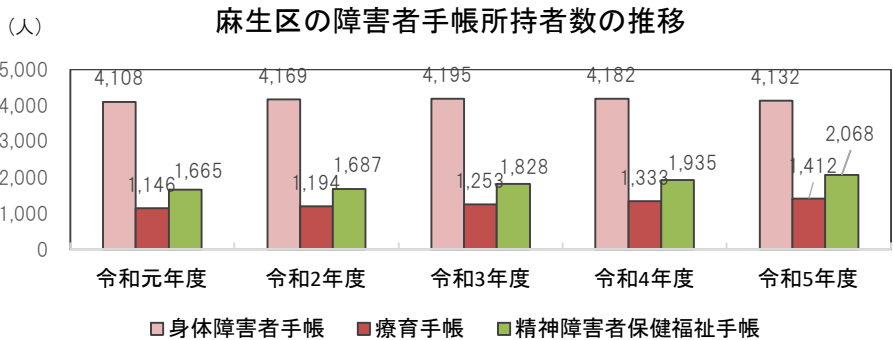
（単位：件）

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	その他	件計
令和5年度	1,118	622	667	738	847	623	537	86	5,238
令和4年度	1,164	593	658	746	774	616	531	75	5,157
令和3年度	1,243	566	732	902	1,001	653	674	61	5,832
令和2年度	1,179	619	706	703	940	637	705	68	5,557
令和元年度	1,031	525	524	670	700	513	515	28	4,506
平成30年度	835	491	560	600	627	541	439	41	4,134

資料：こども未来局「川崎市子どもを虐待から守る条例」第21条に基づく年次報告書（令和5年度版）

⑤障害者数の推移

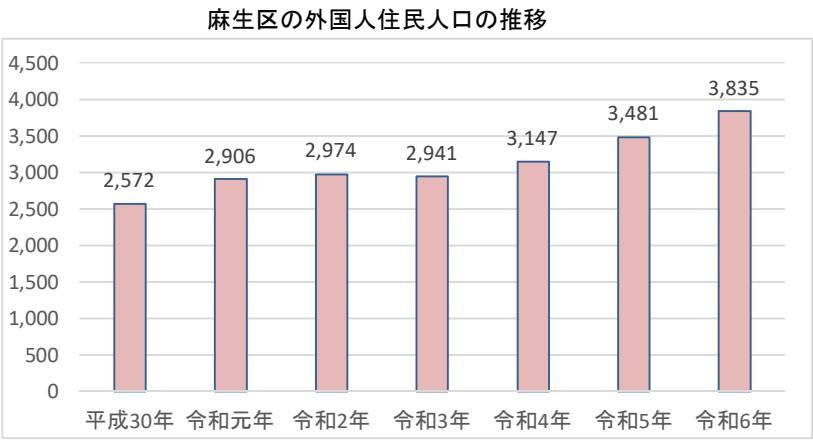
障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）所持者の数は、身体障害者手帳所有者が減少となりましたが、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳は増加の傾向が見られます。



資料：川崎市統計書、川崎市健康福祉年報（各年度末）

⑥外国人住民人口の推移

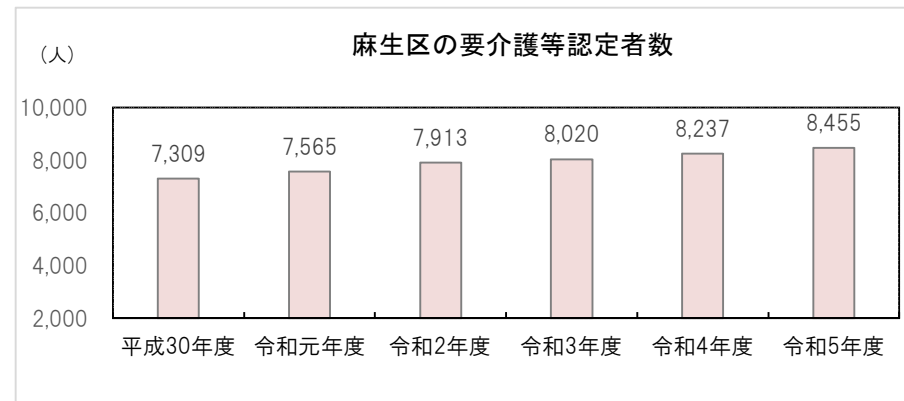
麻生区の外国人住民人口は、増加が続いており、令和6年度には3,835人となっています。



⑦介護保険の利用状況

介護保険要介護等認定者数は、増加が続いており、令和5（2023）年度末は8,455人となっています。

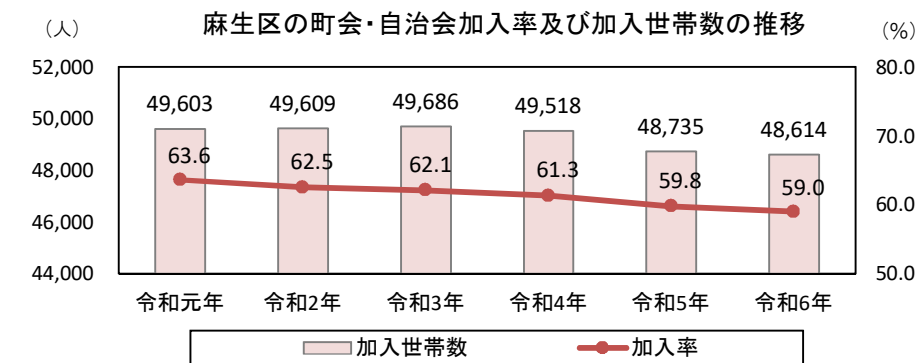
資料：川崎市統計書「介護保険の概況」（各年度末）



⑧町会・自治会の加入率

麻生区には令和6（2024）年4月1日現在、124の町会・自治会等の住民組織があり、市内7区で最も多くなっています。町会・自治会の加入率は、緩やかに減少しています。

資料：川崎市統計書「住民組織加入状況」（各年4月1日現在）



⑨民生委員児童委員の状況

麻生区では、令和6（2024）年4月1日現在の区内の民生委員児童委員は155人で、委員1人当たりの受け持ち世帯数は532世帯となっています。

資料：川崎市統計書「民生委員・児童委員の概況」（各年4月1日現在）

